

評価シート（年度評価）

名古屋市立緑市民病院の管理運営状況

1 基本情報

＜所管局：健康福祉局＞

指定管理者	医療法人純正会		
主な業務内容	名古屋市立緑市民病院の管理運営		
評価対象期間	令和4年4月～令和5年3月	指定管理期間	平成24年4月～令和5年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	○	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症の拡大防止や令和5年4月の名古屋市立大学医学部附属病院化に向けた円滑な移行を図るための施設の改修に留意しながら、サービスを提供できるよう工夫したことにより、病床利用稼働率（稼働病床）は88.6%と昨年度実績を上回った。また、新型コロナウイルス感染症による制限などがある状況においても、地域密着型サービスを提供する施設として、がん検診・特定健康診査を実施するとともに、利用者などの意見・要望を伺う機会を設けて病院運営に反映する等適切に運営されていることについても評価できる。

施設の現状

名古屋市立緑市民病院

施設の現状	施設概要							
	地域密着型の総合的な病院として、二次救急医療の実施、地域のニーズを踏まえた特色ある医療を実施するとともに、災害発生時の市地域防災計画における災害医療活動拠点としての役割、感染症等の発生時における市民の健康危機への対応を行うこととなっております。 指定期間につきましては、市立病院として地域密着型の総合的な病院の役割を継続し、長期間安定的に運営していく必要があること、医師や看護師など専門性の高い人材を安定的に確保する必要があることなどから、10年間としておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、期間を変更したため、指定期間は11年間となっております。 なお、令和5年4月に名古屋市立大学医学部附属病院化しております。							
	市の収支状況(千円)（4年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	0	2,391,605	2,391,605	0	327,883	293,583	621,466	2,036,336
	特記事項							
	「利用料金」には、緑市民病院における医業収益を記載。							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	入院患者数(1日平均)		人	185.7	158.5	170.0	90.9	
	外来患者数(1日平均)		人	239.6	197.3	246.7	198.4	
	病床利用稼働率(稼働病床)		%	90.6	77.3	82.9	88.6	
	特記事項							
	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する防止対策のため、約1か月にわたり診療の一部制限を実施。 令和4年度については、令和5年4月の名古屋市立大学医学部附属病院化に向けた円滑な移行を図るための施設の改修を実施。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載